

品川区(東京都)の一体的実施

平成24年3月26日事業開始

品川区立中小企業センター内に「品川区就業センター」を開設し、ハローワークによる職業相談・職業紹介と、区が行っている就業支援、雇用施策が連携し、区民や区内企業に対する雇用、就労、産業支援等の施策を一体的に実施

区

就業支援サービス等



国

職業紹介・職業相談の実施等

① 事業内容

- ・就職・就業を希望する区民に対するきめ細かな職業相談・紹介等の就職支援
- ・生活保護受給者等に対する就業支援
- ・内職就労支援員による内職相談・あっ旋
- ・区内企業に対する各種経営相談、雇用情報を活用した求人開拓等

② 協定・事業計画

- ・品川区長、東京労働局長及び品川公共職業安定所長の間で協定(*)を締結
- ・数値目標を盛り込んだ事業計画を品川区、東京労働局及び品川公共職業安定所の間で策定

* 協定の実施等について相互に要望することができ、出された要望には誠実に対応する旨を規定

③ 運営協議会

- ・品川区職員、東京労働局職員及びハローワーク品川職員をメンバーとする運営協議会を設置
(品川区地域振興事業部長が会長)

「品川区立中小企業センター」内に「品川区就業センター」を設置し、ハローワークによる職業相談・職業紹介と区が講じている就業支援、雇用支援施策を一体的に実施。

(1) 実施体制

区

- ・内職就労支援員 1名
- ・企業コーナー指導員 1名
- ・就労自立支援相談員 1名

国

- ・職業相談員4名
- ・就職支援ナビゲーター1名(週5回)
- ・求人情報提供端末6台、職業紹介端末5台を配置

(2) 事業目標と取組状況

	25年度事業目標	取組状況(25年10月末実績)
地域住民に対する就職支援事業	◇ 月間延べ1,200人以上の職業相談・職業紹介を実施し、 就職件数年間500件	◇ 月間延べ1,848人に対し職業 相談・職業紹介を実施(4~10月平均) ◇ 就職件数482件
	(参考)24年度目標 ◇ 職業相談・職業紹介:月間延べ800人以上 就職:年間400件	(参考)24年度実績 ◇ 月間平均延べ1,669人 就職年間777件
生活保護受給者等に対する就業 支援事業	◇ 月間延べ90人以上の職業相談・職業紹介を実施	◇ 月間延べ156人に対し職業相 談・職業紹介を実施(4~10月平均)
	(参考)24年度目標 ◇ 職業相談・職業紹介:月間延べ60人以上	(参考)24年度実績 ◇ 月間平均延べ175人
内職相談・あっ旋事業	◇ 年間延べ100人以上の者に対する内職 相談・あっ旋を実施	◇ 延べ103人に対し内職相談・あっ 旋を実施(うち、あっ旋37人)
	(参考)24年度目標 ◇ 内職相談・あっ旋:延べ50人以上	(参考)24年度実績 ◇ 延べ233人
事業者の経営・雇用支援事業	◇ 年間延べ120社以上の事業主に対する 採用、雇用見込み等の情報収集を実施	◇ 延べ96社の事業主に対し、雇用見 込み等の情報収集を実施し、安定所 において求人受理を行った
	(参考)24年度目標 ◇ 採用、雇用見込み等の情報収集:延べ100社以上	(参考)24年度実績 ◇ 延べ121社



「品川区就業センター」について

平成24年3月26日、品川区とハローワーク品川とが連携し、雇用・就労、産業支援等を一体的に実施していく「品川区就業センター」が品川区立中小企業センター内にオープンいたしました。

この就業センターでは、ハローワークの専門相談員による職業相談・職業紹介、求人情報端末による求人検索のほか、生活保護受給者や母子家庭等への職業支援として、区就労自立支援相談員と、ハローワークの就職支援ナビゲーターが協力し手厚く就労支援にあたっています。オープンから平成25年3月末まで、延べ2万人を超える方が足を運ばれ、777の方が就職されました。

平成24年7月にはおおむね55歳からの無料職業紹介所「サポしながわ」も中小企業センター内に移転し、就業センターと連携のもと、シルバー世代の就労支援に取り組んでいます。

今後は区内中小企業への求人企業支援に加え、区内の大学・関連機関などとも連携しながら若者の就業支援にも取り組んでいきます。

規模は小さいながらも、機能と意欲が満載の品川区就業センターを、多くの方に利用してもらえよう、今後とも区とハローワークが連携した就業支援の充実を図り、全力で取り組んでいきたいと考えています。

平成25年4月1日

品川区長 濱野 健

一体的実施事業による就職成功例

●担当者制による就職事例

男性：59歳 希望職種：飲食・清掃

○ 本人の状況・背景

- ・中学校卒業後、居酒屋（ホール・洗い場）及び清掃関係に約40年間従事する。その後、失業保険受給するも他に収入がなく、生活保護受給に至る。

① 抱える課題

- ・本人は、これまでの経験を活かし飲食関係の職種への応募を希望するも、年齢の関係で採用に至らず。

② 支援内容・ポイント・経過

- ・担当者制による就労支援を開始する。当初は本人の希望を優先していたが、相談を重ねていく中で、就業時間の短縮（パート求人）や職種を広げる等提案する。

③ 結果

- ・マンションの日常清掃にパート労働者で採用となる。
※支援期間 5カ月

○ 就職支援ナビゲーターの所感

- ・支援当初は、フルタイム求人への応募を希望していたが、応募しても不採用が続き、自信を失いかけていた。このため、本人と相談し、パート求人に応募するなど応募条件緩和を図った。その結果、以前より積極的な応募の喚起を促す結果となり、採用に至る。

○ 本人のコメント

- ・半日の就労ではあるが、がんばりたい。今後、仕事に慣れたら、もう少し就業時間の長い仕事にもチャレンジしたい。